



米山奨学委員会 米山奨学生終了者歓送会報告

地区米山奨学委員

磯田 郁子

(大阪東淀RC)

日時：平成20年2月3日(土)16:30~19:00

場所：大阪厚生年金会館

参加者：大谷GN、岡田委員長、池田副委員長、笠原、村橋、石山、久岡、
磯田各委員

大学指導教官、各クラブ会長、米山委員長、カウンセラー計90名

2008年度「米山奨学委員会 米山奨学生終了者歓送会」が上記のように開催されました。はじめに大谷GNの挨拶があり、ご自身のアメリカ留学の体験談などを披露されました。その後、今年度で1年乃至は2年の奨学生を終了する留学生の皆さんに修了書が、そしてカウンセラーのロータリアンには感謝状が大谷GNより一人一人手渡されました。

乾杯、食事の後、奨学生の皆さんはそれぞれの米山奨学生としての思い出や感謝の気持ちなどを壇上で発表し、その皆さんの表情は晴れやかで達成感に満ちていました。「これからも日本と母国の架け橋として活躍できる人間になりたいです。」「たくさんのロータリアンや奨学生との出会いができた米山制度に感謝します。」「経済的な心配をすることなく学業に専念できて無事博士を終了することができました。」などの感謝の気持ちを流暢な日本語で話してくれました。

また我が子のように見守ってきたカウンセラーのロータリアンからは「中国に子供が

できたようです。」「彼に教わることの方が多かったです。」「米山を通じていい出会いをいただきました。」などの感想が聞かれました。

最後に豊中千里ロータリークラブの奨学生・張朔源さんによる、日本に来てから練習したというフルートの演奏の披露があり和やかなうちにお開きとなりました。

米山奨学生としてはこれで終了ですが、今後もこのロータリーとの縁が末永く続くことを祈っています。今年度米山奨学生を御世話いただきましたカウンセラーをはじめ、世話クラブの皆様に深く感謝を申し上げます。

